

静岡県身体障害者福祉会情報 第36号

【役員対象情報誌 発行部数:200部 年4回(6月・9月・12月・3月)下旬発行】

発行 社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
TEL:054-252-7829 FAX:054-255-2011
E-mail:syougaisya@za.tnc.ne.jp
発行日 平成30年3月30日

第32回 静岡県身体障害者囲碁・将棋・オセロ大会

日時:平成30年1月13日(土) 10:00~15:00

場所:県総合社会福祉会館 5階集会室・生活訓練室・音楽室

参加者:33人(囲碁6人 将棋10人 オセロ7人 その他10人)

将棋の羽生善治竜王、囲碁の井山裕太七冠の国民栄誉賞受賞や藤井聡太六段の活躍で、囲碁・将棋の世界は今、大変な盛り上がりを見せています。

私たち福祉会も、今年で32回目となる囲碁・将棋・オセロ大会を開催し、対局を通して交流を楽しみました。

全勝者(優勝者)は以下の方々です。おめでとうございます。

【囲碁の部】 枝村 和秋(吉田町)

【将棋の部】 石川 滋(静鈴会)

松島 義男(磐田市)

【オセロの部】 大村 武生(静鈴会)



静岡新聞 平成30年1月14日(日)

第14回 静岡県身体障害者ボウリング大会

日時:平成30年2月3日(土) 9:30~12:00

会場:狐ヶ崎ヤングランドボウル

参加チーム:東部23人 中部43人 西部12人 浜松5人

合計 92人

今年度から団体戦から個人戦に変更し、レーン内も交流を兼ね色々な市町で構成し大会を開催しました。

選手の皆さんは、お互いのプレーに拍手やハイタッチなどしてとても楽しくプレーされていました。得点面では、やはり毎年団体戦で優勝していた静岡市の方が高得点をたたき出し圧倒的な強さを見せつけていました。



左から 1位~5位

来年度は、男女別で表彰を行う予定です。多くの方の参加をお待ちしております。

結果は下記の通りです。詳細は、ホームページをご覧ください。(http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/)

【結果】

順位	合計得点	市町名	氏名	順位	合計得点	市町名	氏名
第1位	446	静岡市	望月 精二	第6位	359	静岡市	柏木 聡幸
第2位	423	静岡市	福島 邦夫	第7位	348	藤枝市	谷本 信造
第3位	407	焼津市	佐藤 充	第8位	343	静岡市	浅倉 正宏
第4位	391	静岡市	杉本 昇一	第9位	330	熱海市	岩瀬 輝美
第5位	362	浜松市	原田 今朝男	第10位	320	函南町	洪沢 常司

ブロックごとの特色豊かに！身体障害者相談員自主研修会を開催

西部ブロック

日 時:平成30年1月25日(木) 10:00～14:30

場 所:豊田福祉センター 3階大会議室

前段は、静岡県障害者政策課の増田吉則課長より、「障害を理由とする差別の解消に向けて」と題し、障害者差別解消法を補完するため、静岡県でも障害者差別解消条例が制定されたことが説明されました。

条例の制定にあたっては、障害者団体と意見交換を重ねたこと、条例が制定され、相談窓口が新設されたり、ヘルプマークやユニバーサルデザインタクシーの導入など新しい取り組みも始まっていることが紹介され、参加者も条例の内容について知識を深めたようでした。

後段は、磐田市立総合病院の出前講座を活用し、「老化のサインはお口から」というテーマで、誤嚥性肺炎について話を聞きました。

今や日本人の死亡原因の第3位にもなっている肺炎、そのほとんどは誤嚥性肺炎だといいます。つい後回しにしがちな口の中のケアですが、それが肺炎予防につながるとあって、参加者は熱心に聞き入っていました。



講師の増田障害者政策課長

東部ブロック

日 時:平成30年1月30日(火) 10:30～14:30

場 所:函南町保健福祉センター 2階多目的研修室

研修のひとつめ「消費生活問題の現状と対応方法について」では、消費生活センターの相談員を講師に迎え、訪問販売や電話勧誘販売など強引に物を売りつける手口にはどんなものがあるのか、また、そのような方法で物を買わされてしまっても、一定期間内であればクーリング・オフで解約できることなどを学び、最後は、DVDを鑑賞して高齢者や障害者がだまされないためには、周囲が気をつけ、時には声をかけ合ってトラブルに巻き込まれないように見守っていくことが大事であることを再認識しました。

ふたつめは、「障害者差別解消法・障害者差別解消条例の概要」ということで、静岡県障害者政策課の辻村主事より話を聞きました。質疑応答では、参加者が遭遇した差別にあたるようなケースについても意見が出され、具体的な事例の蓄積はまだまだこれからなんだなあ実感しました。



研修会の様子

中部ブロック

日 時:平成30年2月12日(月) 10:00～12:00

場 所:島田市プラザおおるり 3階第3多目的室

今回は、「大地震(災害)の際 助けてください～障害者からの SOS～」というテーマで研修を行いました。

はじめに、東日本大震災を題材に制作されたビデオ「生命のことづけ」を視聴し、その後、島田市が作成した「避難行動要支援者を支援するための第一歩」というリーフレットを読みながら、災害が発生した時、障害者がどんなことに困ってしまうのかを考えました。

島田市では、さまざまな種別の障害者団体の代表者を構成員として、“島田市障がい者福祉連絡会”という組織を結成しており、今回使用した冊子も、それぞれの団体が該当する部分を担当し、市のバックアップを受けて制作したそうです。市内全戸への配布はかなわなかったものの民生委員の研修会や小中学校への出前講座などで配布し、普及につとめているという説明がありました。



講師の坂田さん・井村さん・三村さん

第27回 静岡県身体障害者グラウンド・ゴルフクラブ交流大会

日 時:平成30年2月24日(土)

場 所:三保真崎グラウンドゴルフ場

参加者:90人

前回の交流大会後の、「もう一度、三保真崎グラウンドゴルフ場でやりたい、リベンジしたい。」という会員の皆様の声にお応えして、今年度2回も三保真崎グラウンドゴルフ場で交流大会を開催しました。皆さん



男女1位～5位(右から1位)

いかがでしたでしょうか?あちらこちらから「難しい」という声が出ていましたが、男子1位の方は、この難関コースで3回もホールインワンを出しており、また、1位～5位の方の成績を比較してみたところ前回よりかなりよいスコアで上がっていました。このグラウンドゴルフ場は、1プレー300円で楽しめますので、是非個人的にも行ってみたい。

次回は、4月14日(土)(予備日15日)日本平運動公園多目的広場で開催します。(30年度第1回目)桜と富士山を見ながらグラウンド・ゴルフを楽しみませんか?多くの方のご参加をお待ちしております。

【結果】※詳細については、HPをご覧ください。(http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/) 8ホール×3

男子	市町名	氏 名	スコア	女子	市町名	氏 名	スコア
第1位	御前崎市	増森 伝次郎	52	第1位	島田市	塚本 ふでこ	59
第2位	島田市	石島 茂	57	第2位	御前崎市	澤入 こう	60
第3位	吉田町	山田 征支郎	59	第3位	掛川市	若林 せつ子	62
第4位	島田市	斉藤 充史	61	第4位	御前崎市	柏原 敦子	62
第5位	菊川市	八木 省	63	第5位	掛川市	山下 きの江	63

身体障害者福祉センター カローリングを体験しよう!を開催しました

日 時:平成30年2月6日(火) 10:00～12:00

場 所:県総合社会福祉会館 6階 体育館

参加者:30名

身体障害者福祉センターが主催するスポーツ・レクリエーション指導として、上記の日程で「カローリングを体験しよう!」を開催しました。

カローリングとは、平昌オリンピックでも話題となったカーリングをフロアで手軽にできるようにと考えられたものです。

プレイヤーは、ジェットローラと呼ばれる車輪のついた用具をコートの先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け交互に投球し、ジェットローラをぶつけ合ったりしながら得点を競います。今回の講師であるしずおか健康長寿財団はつらつネットふじのくにの岡田行一さんから簡単に説明を受けたところで、参加者は早速、投球練習を開始しました。

最初のうちは、力加減やコントロールの仕方がつかめず、ポイントゾーンまで届かなかったり、力が強すぎて越えてしまったりと悪戦苦闘している様子でしたが、何回も投げていくうちにコツがわかってきたようで、狙いどおりの方向へ投げたり、別のジェットローラにぶつけてポイントゾーンに入れるなど、かなり上達している参加者もいました。

後半には、3人でチームを作って実際のゲームも行い、それぞれのコートからは、「ああ、惜しい!」「おっ、上手い、上手い!!」などと声があがり、参加者同士が楽しそうに交流していました。



真剣な表情で説明を聞く参加者

「手話は言語」 静岡県でも手話言語条例が成立

手話を独自の体系の言語と定義し、理解促進と環境整備に向けた取り組みを県、県民、事業者の「責務」または「役割」と明文化した静岡県手話言語条例案が、3月16日の県議会2月定例会最終本会議で全会一致で可決・成立し、28日より施行されることとなりました。

手話は、2006年の国連総会で採択された障害者権利条約で言語と定義づけられ、国内においても2011年の障害者基本法改正で言語に含むと明記されましたが、社会的認知は進んでいないのが現状です。

今回の条例制定は都道府県でみると18番目。静岡県内ではすでに、富士宮、浜松、菊川、掛川、御前崎の5市が制定済みですが、県として条例が制定されたことは、やはり大きな意義があるといえるでしょう。今後、教育、労働、医療の現場などでも理解が深まっていくことが大いに期待されます。

県手話言語条例が成立

聴覚障害者ら「歴史的な日」

県議会

議員提出の県手話言語条例案が、16日の県議会2月定例会最終本会議で全会一致で可決・成立した。県内の聴覚障害者団体や手話通訳の関係者らが傍聴席から見守り、「手話を言語」と認める共生社会の実現につながる大きな前進と歓迎した。

(政治部・鈴木文之)

条例は、手話を独自の体系の言語と定義し、理解促進と環境整備に向けた取り組みを県、県民、事業者の「責務」または「役割」と明文化した。28日より施行される。条例制定は、都道府県で18番目。

聴覚障害者や手話通訳者は傍聴席で可決を見證すると、耳元で拍手をひらひらさせる拍子で、手話は国の方針で昭和初期から長く言

条例は、手話を独自の体系の言語と定義し、理解促進と環境整備に向けた取り組みを県、県民、事業者の「責務」または「役割」と明文化した。28日より施行される。条例制定は、都道府県で18番目。

聴覚障害者や手話通訳者は傍聴席で可決を見證すると、耳元で拍手をひらひらさせる拍子で、手話は国の方針で昭和初期から長く言

語と見なされず、ろう本改正で手話を言語者は話し手の口を読み取る読唇や発声練習を育、労働、医療の現場強いられたとされる。でも理解が深まってい2011年の障害者基本法という。

静岡新聞 平成30年3月17日



4月～6月の行事予定



行事名	開催日	会場
第28回静岡県身体障害者 グラウンド・ゴルフクラブ交流大会	4/14(土) 予備日4/15(日)	日本平運動公園 多目的広場
第21回国際福祉健康産業展 視察研修	5/17(木)	ポートメッセなごや
第11回静岡県身体障害者 グラウンド・ゴルフ大会(個人戦)	5/26(土) 予備日5/27(日)	草薙総合運動場 補助競技場
平成30年度 第1回理事会	6/5(火)	県総合社会福祉会館
第62回日本身体障害者福祉大会	6/13(水)～14(木)	高崎アリーナ
第7回エンジョイライフ 視覚障害者卓球大会	6/16(土)	県総合社会福祉会館
平成30年度 定時評議員会	6/21(木)	県総合社会福祉会館